

サポーター各位

平成 20 年 12 月 25 日
京都サンガ F.C.サポーター連合会

12 月 6 日（土）イベント実施報告（コレオグラフィー）

【主催】京都サンガ F.C サポーター連合会

【イベント実施ゲーム】J.League Division1 第 34 節「京都サンガ F.C.×清水エスパルス」

【実施場所】西京極陸上競技場 SS メイン、ホーム側 S メイン、S バック、南スタンド

【参加人数】実施エリア来場人数 約 16,000 人

【イベント実施時の天候】晴れ

1. 主催者について

- ・ サポーター連合会が主導し、10/25vs 東京 V 戦において募金活動を実施した。（収支報告は別紙参照）
- ・ その募金により画用紙（コート紙）を紫 8,000 枚、白 8,000 枚購入した。

2. イベント実施ゲーム選定について

- ・ 第 1 回ミーティングにおいて、名古屋グランパスの西京極で優勝の可能性があり、決めさせないためにもコレオグラフィーを行いたいとの意見と、やはり最終戦に行き、来期へとつなげていきたいとの意見が出た。そこで、状況をもう少し見るために、第 2 回ミーティングにおいて、名古屋戦か清水戦かを決定することになり、画用紙など準備に関しては、名古屋戦までにできる段取りをとった。

3. 画用紙掲揚のタイミング

- ・ 通常行っている選手入場直前時のマフラー掲揚を「画用紙掲揚」として変更して実施した。

4. 実施場所の選定について

- ・ SS メイン、S メイン（ホーム側のみ）、S バック、南スタンドで実施。
前回、ゴール裏のみで実施したが、さらにより多くの人を巻き込み、行うためにアウェイ席と S メインのアウェイ側以外で行うことになった。今回限りで北スタンドにホーム席ができたが、状況が把握できないために実施しなかった。

5. 実施の準備について

① 第1回コレオグラフィーミーティング

10月11日（土）京都市市民スポーツ会館会議室

出席者：吉田、坂本、横井、小西、上原、上原、上原、飯尾、永松、山脇、真木、山内、松田、徳岡、真木（敬称略・順不同）

- ・上で述べたように、実施日をリーグ戦の状況を見て、第2回ミーティングにおいて決定する。
- ・実施規模を、紙で述べた規模に設定。
- ・画用紙の業者選定の担当を飯尾氏に決定。東京V戦にて見積もりなどを報告。
- ・掲揚タイミングは、試合開始前で決定。
- ・費用の捻出方法は、10/25 東京Vにおいて、各スタンドで募金活動を実施する。
- ・画用紙の配置方法は、開門前に各座席に貼り付ける。
- ・雨天中止の決定は、実施日前日の20時に真木氏が決定し、事前準備の参加メールとサポ連HPで告知を行う。

② 事前告知（1回目）

10月25日（土）開催の東京V戦において、各スタンドでの募金活動と同時に、告知チラシ配布を行った。その他、トイレなどパブリックスペースへのチラシを貼付した。（8,000枚）募金活動収支報告は別紙

第2回コレオグラフィーミーティング

11月16日（日）京都市市民スポーツ会館会議室

出席者：吉田、坂本、横井、宮脇、川上、椿本、上原、上原、飯尾、永松、山脇、山内、服部、徳岡、真木（敬称略・順不同）

- ・実施日を、12/6 清水エスパルス戦に決定。
- ・スタンド別担当者の決定。
メイン：宮脇 バック：横井、飯尾、服部、徳岡 ゴール裏：真木
- ・告知チラシ作成：徳岡、真木
- ・画用紙（コート紙）購入業者を佐川印刷に決定。佐川印刷からコート紙の提案を受け、画用紙と同じ金額ででき、光沢があり多少汚れに強いとのこととコート紙に決定。
- ・回収方法は、各出口に回収箱を設置、試合後に次回使える紙と使えない紙を分ける。使えない分に関しては、古紙回収業者にお願いする。

6. 画用紙掲揚

- ・紫色と白色の画用紙を使用。ツートンのコレオグラフィーとなった。



ゴール裏



Sバック

7. 反省点など

- ・述べ 100 名のサポーターが、事前準備に参加頂けたが、画用紙約 1 万 6 千枚の座席セッティングに、当初予定を大きく上回る、3 時間半の作業時間を要した。
- ・今回は、夜露が座席に凍りついており段取りが崩れてしまった部分があった。本来ならば、ブロック別に画用紙とセロテープを配置してから作業に入れば良かった。メインに関してはそれができたので、画用紙が足りない事態も発生しなかった。
- ・座席への貼り方についても風向きなどを考え、様々な貼り方を検討するべき。貼り

付けるテープも幅の広い養生テープなども次回の検討材料である。

- ・説明、告知に関しては、徹底出来ており、その結果として 1 万枚程の画用紙を回収する事ができた。説明、告知はある程度人数を掛けて行う必要がある。各座席の小さい説明用紙は今後も必要か否か検討が必要。
- ・回収、分別作業は、述べ 40 名ほどで作業を行った。作業時間は、約 2 時間。分別作業時は暗くなってしまい、バイクなどのライトで、出来るだけ照明を作り出したが限界がある。作業場所なども次回もっと良い場所があれば検討する必要がある。あと、再利用する基準をどこまでにするかも問題である。画用紙の保管は、吉田、徳岡、服部、山内、真木が保管。

8. 最後に

今回のイベントをガンバ戦に引き続き、さらに、全ての準備をサポート主導で行えたことは非常に良かった。またこのようなすべてのファン・サポーターを巻き込み盛り上げる企画をしていくべきである。そして、その活動が様々な活動にリンクし、全体の活性化へと繋がると思う。

コレオグラフィー収支報告

収入	名目	金額
	募金	¥ 382,088
	サポ連余剰金	¥ 4,200
	収入合計	¥ 386,288

収入-支出=余剰金	
¥ 386,288	- ¥ 225,112 = ¥ 161,176

余剰金 ¥ 161,176

支出	名目	金額
	コート紙(紫・白16000枚)佐川印刷	¥ 194,880
	両替手数料 京都中央信用金庫	¥ 1,260
	ミーティング会場使用料 10/11	¥ 3,800
	11/16	¥ 4,300
	京都市市民スポーツ会館	
	広告チラシ印刷費 名古屋戦分(B4 4000枚)	¥ 6,389
	清水戦分(B4 4000枚)	¥ 6,431
	東山学園	
	ゼロテープ 70本 プロバック	¥ 4,410
	ゼロテープ 20本 プロバック	¥ 1,260
	告知チラシ(写真入りカラー) 京都コピー	¥ 1,272
	ガムテープ3巻 サークルK	¥ 1,110
	支出合計	¥ 225,112